

氏名	吉村 基宜	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 2015年埼玉県立大学大学院看護学研究科博士前期課程				
経歴	2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、 日本障がい者スポーツ健康科学看護学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	障がい者スポーツ大会における看護職の活動の現状と課題に対する文献検討	共著	あり	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会 学術誌	吉村基宜、田中広美、鈴木康美、徳本弘子	2020.3 掲載予定
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		専門職連携教育(IPE)評価尺度の因子構造および信頼性・妥当性の検討	研究代表者	2019.4~2021.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者	2019.4~2022.3	
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	該当なし					
2						
3						

(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護方法Ⅰ		16	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 1年次生を対象としているため、分かりやすい指導に努めた。		
2	看護方法Ⅱ		32	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。また、デモンストレーションを担当し、技術の流れについて説明をした。 安全・安楽・自立の視点を基に、日常生活援助技術について指導をした。		
3	看護方法Ⅲ		16	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。また、デモンストレーションを担当し、技術の流れについて説明をした。 診断治療の援助技術として、原理・原則を意識できるよう指導をした。		
4	看護方法Ⅳ		2	学生のアセスメントにもとづく看護実践の発表を聞き、助言を行った。 既習事項を踏まえた内容になっているかに留意し、助言をした。		
5	看護過程論		16	科目担当者として、演習における指導や物品準備・片付け等の運営補助を行った。 看護を展開する上で、科学的に捉えることを意識するよう関わった。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	ヒューマンケア体験実習		学外:2019.9.20 ～9.26 学外:4コマ	1年次生を対象に、実習指導および振り返りを行った。保健・医療・福祉の現場を直接体験しながら、医療職者としての態度・姿勢を学び、コミュニケーション技術獲得への支援を行った。		
2	総合実習		学外:2019.7.9～ 7.25 学内:11コマ	4年次生を対象に、事前学習(学内実習)・事後学習(学習成果発表会)を含めた実習指導を行った。 これまでの集大成として、既習の知識・技術を活用しながら、自己の課題を達成できるよう関わった。 昨年度に引き続き、「チームナーシング」の学習も行い、看護チームにおける自己の役割と機能について学べるよう関わった。チームナーシングは昨年度は対象病棟が1病棟のみであったが、今年度は2病棟にした。		
	基礎看護学実習Ⅰ		学外:2020.2.17 ～2.21 学内:2コマ	1年次生を対象に、実習指導を行った。 初めての看護実習でもあるため、安全に留意しながら看護学生としての実習に臨む姿勢を意識できるように関わった。		
3	基礎看護学実習Ⅱ		学外:2019.10.1 ～10.25 学内:19コマ	2年次生を対象に、実習指導を行った。 初めて患者を受け持ち、看護を展開していくため安全に留意して指導を行った。また、対象を全人的にとらえ、個性のある看護を実施することを意識づけた。 また、領域内での科目担当として科目責任者の実習運営のサポートを行い、実習要項や記録用紙、評価票の見直し・修正なども行った。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	2名	副指導	0名
2			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
3			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
(5) その他						
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし					
2						
3						
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月		
1	高校出張講座		身体の上手な使い方～ボディメカニクス技術の活用～	2019.11		
2						
3						

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会	第2回学術集会運営実行委員	2018.12～2019.10	
2				
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会 委員		2019.4～2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学20周年記念事業 広報部会 委員		2019.4～2019.5
3	学科等における委員会等	1年生担任		2019.3～現在
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				